

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2005-117612 (P2005-117612A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-017
 【出願番号】特願 2004-93284 (P2004-93284)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)
G 0 6 T 1/00 (2006.01)
H 0 4 N 9/04 (2006.01)
H 0 4 N 9/64 (2006.01)
H 0 4 N 9/79 (2006.01)
H 0 4 N 1/60 (2006.01)
 H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z
 G 0 6 T 1/00 5 1 0
 H 0 4 N 9/04 B
 H 0 4 N 9/64 Z
 H 0 4 N 9/79 H
 H 0 4 N 1/40 D
 H 0 4 N 101:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2 1】

前記取得手段は、前記被写体を撮影した際の測光値からの推定を行って、前記光源の照度情報を取得するものである請求項 1 3 ~ 1 9 のいずれかに記載の画像処理装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2 2】

前記取得手段は、前記被写体中の白色点もしくは平均色度からの推定を行って、前記光源の色度情報を取得するものである請求項 1 3 ~ 1 9 および 2 1 のいずれかに記載の画像処理装置。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2 3】

前記取得手段は、前記被写体中の反射率既知の物体の色度を取得して、前記光源の照度情報を取得するものである請求項 13 ~ 19 および 21 のいずれかに記載の画像処理装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

ステップ S 27 :

ステップ S 26 で測定された三刺激値 X_0 , Y_0 , Z_0 に対して、下記の式 (4) により、フレア補正後の XYZ 三刺激値 X_0' , Y_0' , Z_0' を算出した。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

図 5 に示す画像処理ユニット 32 においては、こうして、コントラスト・彩度変換ユニット 34 で得られ、好ましい色再現変換がなされた被写体画像の測色値 D6 (被写体の変換三刺激値 ($X_a Y_a Z_a$)) が、図 1 に示す画像処理ユニット 12 の見えの忠実再現変換ユニット 22 (または図 2 の見えの忠実再現順変換ユニット 22a) に、被写体画像の測色値 D1 (被写体の変換三刺激値 ($X Y Z$)) の代わりとして入力され、上述の実施形態と同様にして、見えの忠実再現変換ユニット 22 で見えの忠実再現処理が行われ、フレア補正部 24 でフレア補正がなされ、最終的な再現画像の測色値 D4 (再現画像の三刺激値 ($X Y Z$)) として出力される。

この後、こうして出力された最終的な再現画像の測色値 D4 は、画像出力ユニット 14 に入力され、プリントなどのハードコピー画像および/またはモニタ表示画像などのソフトコピー画像などの再現画像が出力される。

このようにして得られた再現画像は、見えの忠実再現のみならず、好ましい色再現がなされたものであり、人間にとって自然に感じられる画像である。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

ステップ S 51 :

5 種類の明るさレベルが異なる被写体の代わりに、7 種類の異なる被写体を撮影した以外は、実施例 3 と同様にして、富士写真フイルム (株) 製カラーネガフイルム Superia 400 を用いて、7 種類の被写体 (人物写真 3 種、風景写真 4 種) を撮影し、現像処理後のカラーネガフイルムを、大日本スクリーン製造 (株) 製のスキャナ SG-1000 により収録して、デジタル画像データを得た。